

## 理事長挨拶



宮原 秀夫

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）は、情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関として、我が国の国際競争力の強化と社会の持続的な発展のため、基礎的な研究開発から先導的な研究開発まで一貫して実施するとともに、大学、民間等の研究開発を支援する戦略的ファンディングと通信・放送事業の振興等を総合的に推進しています。研究開発の対象とする技術分野については、新世代ネットワーク技術領域、ユニバーサルコミュニケーション技術領域、及び安心・安全のための情報通信技術領域に重点化しています。

このような幅広い機能を有するNICTは、我国の情報通信分野の研究開発の発展のため、また、そのための人材の育成について、次のような役割を担っています。まず、研究資金の効果的な配分を含めた我国の研究開発の戦略的な先導、第二に、標準化・技術移転・実用化までを視野に入れた研究開発の枠組みの提案と実行、第三に、政策への積極的な提言や国際的な連携、さらに、これらを支える人材育成です。これらを推進するため、NICTは、総合的戦略に基づいた多様な研究開発施策の推進、協調と競争を推進するための研究者及び組織間の連携機能の強化、並びに、産学官の人材も含めた研究リソースの集約を重点化項目として取り組んでいます。

近年、情報通信ネットワークは益々重要な社会基盤となっていますが、安心・安全な生活を託せるものか、すべての人々にとって使いやすいものか、環境問題等に対処し持続発展可能な社会を支えられるものか、将来の知識社会を支えられるものかなど、様々な課題が顕在化してきています。平成21年度は、これらの課題を解決し、真の社会基盤となり得る情報通信ネットワークを実現するため、新たな設計思想・技術に基づく新世代ネットワークの研究開発について産学官連携のもとに推進方策などの検討を行うとともに、その構築に必須となる光ネットワーク技術などの重要な技術について研究開発を推進いたしました。また、映像・音声等によるヒューマンインターフェースを向上させるための研究開発、ネットワークのセキュリティを確保するための研究開発、脳機能を応用した新たな情報通信の実現に向けた研究開発などを推進いたしました。

NICTでは自らが創出する研究成果によって、顕在化する社会問題などのマイナス面を解決する手段を提供していくとともに、個人生活の質の向上、地域の活性化、コミュニティの生産性の向上等、新たな社会の発展に貢献できるように今後も一層努力していく所存です。

本年報が、NICTをご理解いただく一助として、ご活用いただければ幸いです。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。